

文化元年甲子肥前長門在天津
魯西亞商船八十餘人來

船長三間
船八間
大砲二十八門
帆十八片
大工三十三間
ヤリ生三十間
石火筒三十四枚

ナデジタ号
使節「サノフ」搭乗



魯西亞人

甲冑之圖



鍬

表飾物

金銀

草

幸大夫

視聽草卷八拾載
老年肖像之シ

天明二年(七八三)熱州白子村神呂丸船頭幸大夫(魯國)存スル

文書ノ自署ハ光太夫トアリ水手磯吉等海上難凡ニ遭ヒ時日ヲ經テ露領

亞細亞東岸ニ漂着シ寛政三年(七九二)魯都彼得堡ニ至リ皇女帝「エカテ





幸大夫
視聽草卷八所載
 老年肖像ナルベシ

天明二年(一七八三)勢州白子村神昌丸船頭幸大夫(魯國)存スル
 文書ノ自署ハ光大夫トアリ水手磯吉等海上難凡ニ遭ヒ時日ヲ經テ露領
 亞細亞東岸ニ漂着シ寛政三年(一七九一)魯都彼得堡ニ至リ皇女帝エカテ
 リナニ謁シ四年其使節ヲラスマンニ護送セラレテ歸国ス 五年九月十
 八日大將軍徳川家齊二人ヲ江戸城吹上苑ニ召シテ之ヲ觀育司ヲシテ彼國ノ
 事情ヲ問ハシム時ニ幸大夫年四十二磯吉廿八共ニ魯國ノ服裝ヲナス觀者
 皆甚々之ヲ奇トス 漂流御覽之記

寛政五年(一七九三)奥州寒風汎濱若宮丸ノ船手十餘人海上難凡ニ
 遭ヒ漂流數月翌年露領ニ着シ享和三年(一八〇三)彼得堡ニ至リ津太
 夫左平等十人日本服ヲ裝シ國帝アレクサンドル第一世(廿七歲)
 皇后エリサベトニ謁ス此時始テ輕氣球ノ飛揚ヲ縱覽ス 翌文
 化元年(一八〇四)津太夫等四人魯國使節レサノッフニ半ハレテ歸国
 ス 環海異聞 日本人ノ全地球ヲ一周セル者是ヲ始トス



水主磯 十吉 二十八歳



大黒屋 幸太夫 四十二歳

文化頃寫本
 漂流人口上書

文化四年(一八〇七)大槻磐水撰
 環海異聞卷十





長崎港口
 文化元年當船入港設置



享和三年(一八〇三)
 日本漂流民彼得堡
 二於于輕言球ヲ觀



サウタ
アシカル
歩卒



上素針後
山崎三十四
ラートマノフ



ニコラサント 最聖

衣服花色天鵝絨但衣服、着替、度
毎地性色共三種、ナレバ製作

地金銀ニ金飾ナリ、表、浅黄、キレシ

赤羽
白羽
白毛黒皮
金條
金條玉飾
スライム
金条
裏裡ニ銀
白カ丁箱



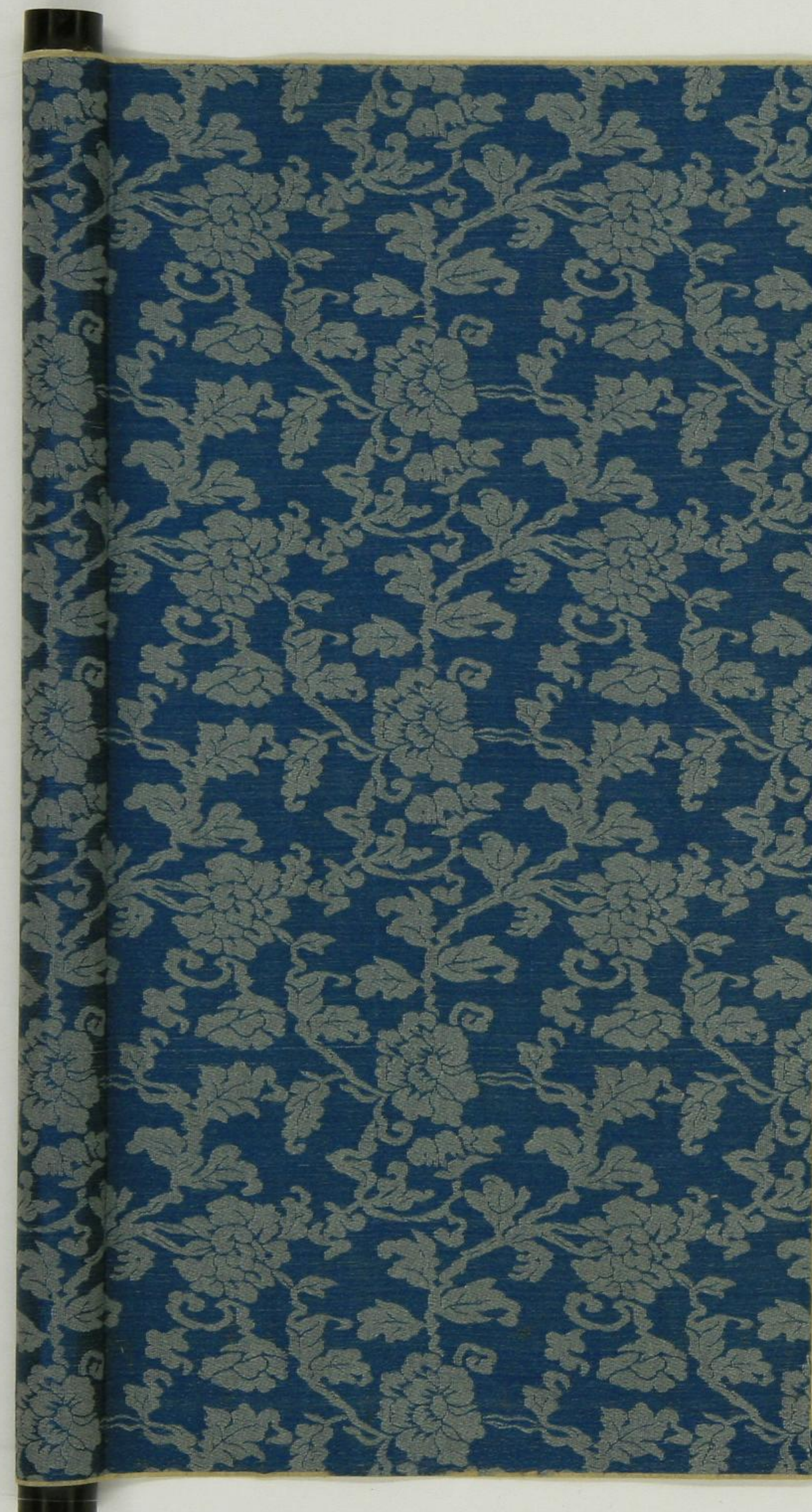
大村

大村

中用取

佐々

佐々



サウタ
歩卒
アシカル

同背画

早合用札
玉薬入

皮子

上素針後
山貳三十四
ラートマノフ

地金銀ニ金飾ナリ
此銀流金ナリ

赤羽
白羽

白毛黒皮

金條
金條玉飾
スライツストム

金條

裏猩ニ紺

白力丁結